

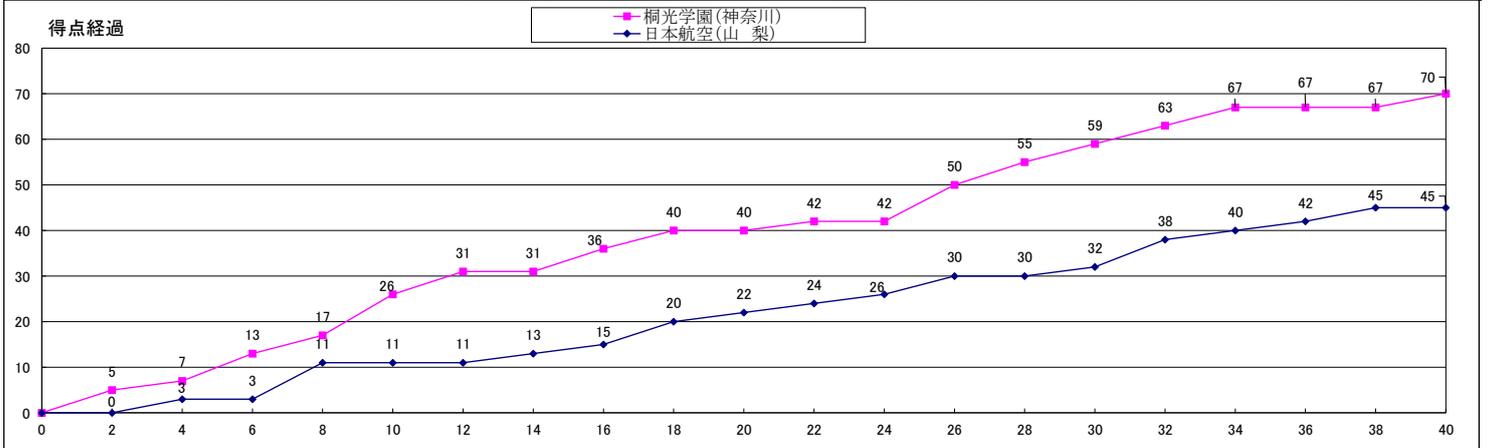
試合No.	C1	大会名	令和4年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第76回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会						
		期 日	令和4年6月5日(日)			会 場	小田原アリーナ		
男子2回戦	CC	若林 哲	U1	大川 尚		U2	栗田 賢吾		
チーム名			1Q	2Q	3Q	4Q	延長	延長	合 計
日本航空(山 梨)			11	11	10	13			45
桐光学園(神奈川)			26	14	19	11			70

日本航空(山 梨)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
東山 惇明	0	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	1
藤野 仁喜	1	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	1	0	0	0	0
岩下 貴太(CAP)*	2	12	4	10	40%	0	6	0%	0	0		0	4	9	0	0	5	3
溝口 琢真*	3	2	0	1	0%	1	4	25%	0	0		1	3	0	1	0	1	3
松本 理史	6	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
青木 王哉	7	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
芦澤 優	8	0	0	4	0%	0	0		0	0		2	0	1	0	0	0	0
上島 瑞生*	14	0	0	0		0	3	0%	0	0		0	0	0	0	0	1	4
宇藤 碧斗	15	0	0	4	0%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
小池 玲央	18	0	0	3	0%	0	0		0	0		1	0	0	0	0	0	0
松本 陽希*	24	11	1	3	33%	3	7	43%	2	2	100%	0	4	1	2	1	2	2
大道 一步	30	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	1
渡辺 辿*	32	10	0	0		5	7	71%	0	0		0	5	0	2	0	2	4
ルハグワドルジ・ナランビレグ	35	8	0	0		4	6	67%	0	0		2	1	0	2	2	1	4
酒井 基充	66	0	0	1	0%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	1	0
コーチ 嶋内 誠																		
合計		45	5	26	19%	14	35	40%	2	2	100%	6	18	12	7	3	13	22

桐光学園(神奈川)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
近藤 佑希	4	6	0	0		3	7	43%	0	0		3	0	0	1	0	1	1
伊藤 正樹*	5	7	1	2	50%	2	6	33%	0	0		1	1	0	4	0	2	0
常陸 匠(CAP)*	6	13	1	2	50%	3	6	50%	4	4	100%	0	4	1	3	0	0	1
八田 優里亜洲*	7	10	0	0		4	7	57%	2	2	100%	1	3	0	4	0	0	1
濱本 和助	8	3	0	0		1	2	50%	1	2	50%	2	1	0	0	0	1	0
福永 淳也	9	7	1	3	33%	2	8	25%	0	0		2	5	1	1	0	0	0
島村 俊乃介*	10	6	0	0		2	7	29%	2	7	29%	0	2	1	2	1	0	1
岡田 脩吾	11	0	0	1	0%	0	1	0%	0	0		0	1	0	0	0	0	0
進 敬太	12	0	0	0		0	2	0%	0	0		1	2	0	0	0	2	2
井上 博樹*	13	5	0	0		1	8	13%	3	3	100%	6	4	0	0	2	0	2
塩田 吉琉海	14	2	0	1	0%	1	3	33%	0	0		0	1	1	1	0	1	1
クーリバリ セリンムルタラ	15	4	0	2	0%	2	2	100%	0	2	0%	0	3	0	0	0	1	0
古山 幸聖	16	4	0	0		2	6	33%	0	0		2	1	0	0	0	0	0
黒田 捷稀	17	3	0	1	0%	1	1	100%	1	3	33%	0	1	0	1	0	0	0
小早川 藍人	18	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
コーチ 林 大空																		
合計		70	3	12	25%	24	66	36%	13	23	57%	18	30	4	17	3	8	9



戦評

1Q 両チームマンツーマンでスタート。開始早々、桐光学園は堅いディフェンスからブレイクを繰り返して得点を重ねていく。対する日本航空は攻め手に欠け、桐光学園のディフェンスの前にタフショットが増え、なかなか得点が出ない時間が続く。残り4分タイムアウトを後にディフェンスをゾーンプレスに変え、#24のバスケットカウントや3ptsなどで活路を見出す。しかし桐光学園の堅いディフェンスの前にターンオーバーが増え、26-11と桐光学園がリードして1Qを終える。

2Q 桐光学園はハーフコートマンツーマン、日本航空はゾーンディフェンスでスタート。日本航空のゾーンに対し、苦しい場面がみられる桐光学園だが、相手のミス誘い、速い展開で得点を重ねる。日本航空もディフェンスで相手を陥れるがオフェンスでミスが止まらず苦しい時間帯が続く。日本航空は#35の高さを生かし得点し、桐光学園はシュートリバウンドでチームで得点を重ね、40-22と桐光学園がリードを広げて2Qを終了。

3Q このQ、日本航空はメンバーチェンジやディフェンスを変えたり工夫を見せるが、桐光学園のアジャストが早く、ブレイクを中心にリードを保ち続ける。桐光学園は#5、#6がスティールを連発し、ゴール下の調子が上がらなかった#13がバスケットカウントを決める。その後も日本航空は流れを変えることができず59-32と桐光学園がリードし3Qを終了。

4Q 反撃したい日本航空は#2の3ptsやアシストで得点を重ねる。ディフェンスもオールコートでプレッシャーをかけたミス誘発。しかし桐光学園も#4を中心にバックアップメンバーも集中を切らさずプレーをし続け、70-45と桐光学園勝利でゲーム終了。桐光学園の強いディフェンスと日本航空の頑張りが光るゲームだった。